

Title	大阪公衆衛生 第86号 編集後記／奥付
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 86 p.33-p.33
Issue Date	2015-02
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/78632">https://hdl.handle.net/11094/78632</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編集後記

昨年、NHKで特集番組「巨大災害 MEGA DISASTER」が放送されました。地震、噴火、集中豪雨等の自然災害は人間の力で防ぐことはできませんが、日頃からそのような場面を想定して訓練を行い、兆候の把握に努めることにより発生に備えることが多くの住民の命を守ることにつながります。このことは新型インフルエンザをはじめとする新興・再興感染症についても全く同様であり、我々は今後とも備えを強化していく必要があります。

今年は我が国においても数十年ぶりにデング熱の国内感染が確認されるなど、様々な感染症事象が発生しました。なかでも「エボラ出血熱」は最近はマスコミを販わすことは少なくなったとはいえ、まだその闘いは続いています。

今号はそのような情勢を踏まえて、「新興・再興感染症」をテーマとしました。専門家の先生方による疾患の解説に加えて、市町村で進められている新型インフルエンザ等感染症対策マニュアルの策定の参考となるように、府内で先進的に取り組んでいる市の担当者に執筆をお願いしました。また、巻頭言として大阪府健康医療部長の上家先生から、実際にアフリカでエボラ出血熱患者の診療にあたられたご経験に基づく、生の声をお寄せいただいています。行間から溢れる第一線の緊迫感を感じ取っていただければと思います。

さらに今回は府でこれまで保健所長として長きにわたりご活躍された大塚先生の講演録を掲載させていただくことができました。府の公衆衛生をリードされてこられた大塚先生の金言には我々が心すべき教訓が多数詰まっています。ぜひご一読ください。

最後に大変お忙しい中、原稿をお寄せいただきました執筆者の皆様方並びに講演録の掲載を快くご承諾いただき、推敲の労を取ってくださった大塚先生に厚く御礼申し上げます。

(出版編集室長 森脇 俊)

### ※ 出版編集室メンバー ※

室 長	森 脇 俊 (大阪府)
幹 事	飯 沼 恵 子 (大阪府)
	安 井 典 子 (大阪市)
	山 崎 隆 司 (大阪府)
	淡 路 順 子 (堺 市)
	須 藤 隆 彦 (東大阪市)
	手 島 寛 (高槻市)
事務局長	井 戸 武 實 (協 会)

## 大阪公衆衛生 86号

発 行 平成27年2月 発行者 南波正宗  
編集責任 公益財団法人 大阪公衆衛生協会出版編集室  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目3番1号 双馬ビル4階404号室  
TEL (06)6948-5917 FAX (06)6948-5927  
印 刷 (株) ショーアート TEL (06)6967-0811

公益社団法人 大阪公衆衛生協会